

## 矢祭子ども司書の学びを始める君たちへ

おはよう！

子ども司書の講座にチャレンジしようと思募した君たち一人ひとりの心意気こころいきに、まず拍手を贈ります。よくぞ参加を決心しましたね。

きっと、君たちは本が好きなのだと思います。本を読むことは、そのとき楽しかったり新しい知識ちしきを覚えたりするだけでなく、長い人生の中で、いろいろ難しいことに直面した時に、どのようにしたらよいのか、自分なりに乗り越えていくことのできる心の豊かさを育むうえで、とても大事な学びをすることでもあるのです。

読書というものに親しみを感じている君たちが、もっと広く深く本について理解できるようになったなら、本の読み方もこれまでよりずっと深いものになるに違いありません。

子ども司書の講座は、これから学年末の来年三月まで、いろいろな学びが予定されています。この一連の講座を受けると、本や言葉について、ただ借りて読むだけでは気づかなかった新しい世界があることを知って、ますます本に対する興味きょうみを強く持つようになるでしょう。本の貸し出しのサービスを受けるだけでなく、貸し出しのサービスをする側になってみると、いろいろなことことに気づくはずです。それは、君たちが生きていくうえで、とても大事な心の財産ざいさんになるでしょう。

さあ、いよいよ講座の始まりです。

講座のある日は、「今日はどんな新しい経験ができるかな」と、心はずませて参加しましょう。

一年後、君たちが大きく成長している姿を見たいものです。矢祭町手づくり絵本コンクールの審査しんさや賞の贈呈ぞうていの日には、矢祭町に出かけますから、その時、お会いしましょう。

平成二十五年六月九日

作家 柳田 邦男  
やなぎだ くにお